

第2学年国語科学習指導案

対象 第2学年

指導者 笠井 睦史 宮倉 和咲 三輪 諭美

1 単元名 わき出た思いや考えをつかまえて、つたえ合おう

教材名 「スーホの白い馬」(光村図書 下)

2 単元の目標

◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 [思考力,判断力,表現力等]

○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。

[思考力,判断力,表現力等]

○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。

[知識及び技能]

○言葉がもつよさを感じると共に、楽しんで読書をし、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力,人間性等]

3 指導計画(全14時間)

次	時	学習活動	・指導上の留意点	◇評価規準と評価方法
第一 次	1	○絵本の読み聞かせを聞き、初発の感想を書く。	・登場人物のしたことや出来事に着目し、初発の感想を交流できるようにする。	◇本単元の目標を理解し、学んだことを基に自分の考えた相手や方法で感想を伝えようという意欲をもっている。(発言)
	2	○2年生の読むことの学習で心に残っていることを出し合う。 ○学習計画を立てる。	・話の流れや登場人物等をおおまかに理解する。 ・難しい言葉や表現を確認する。 ・初発の感想で出た疑問を基に、行動と会話に着目して学習計画を立てる。	
	3	○あらすじを掴む。 ○場面を分ける。	・あらすじを読み取るために、登場人物と大きな出来事を整理する。	◇作品構成に気付き、人物の行動や出来事を中心におおまかな内容を捉えている。(発表・ワークシート)
	4	○物語の導入を読む。 ○モンゴルについて知る。(調べる)	・扉のリード文や挿絵を使って、物語について想像を膨らませられるようにする。 ・モンゴルの文化を理解することで、物語の読みを深められるようにする。	

	5	○スーホと白馬が出会った場面のスーホと白馬の様子や気持ちを考える。	・スーホになりきって、自己紹介をし、人物像を掴めるようにする。	◇人物の様子や動作を表す言葉に着目し、その動きを理解している。(発言・ワークシート) ◇場面の人物のしたことや話したことを想像して、理由や様子を読み取っている。(発言・ワークシート)
	6	○おおかみがおそってきた場面のスーホと白馬の様子や気持ちを考える。	・登場人物の行動・心情に線を引くことで、叙述に着目できるようにする。	
	7	○殿様に白馬を取り上げられた場面のスーホの様子や気持ちを考える。	・初発の感想で出てきた児童の疑問を中心に話し合うことで、児童の意欲を引き出す。	
	8 本時(一組)	○白馬が逃げ出し、スーホのところに戻ってきた場面のスーホと白馬の様子や気持ちを考える。	・「スーホの日記」を記入することによって、スーホの思いに寄り添うことができるようにする。	
	9 本時(二組)	○馬頭琴をつくる場面のスーホの様子や気持ちを考える。		
	10・11 本時(三組)	○強く心に残った文や場面とその理由を交流する。	・ワークシート、タブレット、話すなど、自分に合った方法を選べるようにする。 ・友達と感想を交流し、「似ている」「なるほど、そんな感じ方もある」と思ったところを伝え合い、互いの感じ方を認め合えるようにする。	◇友達との感想の交流を通し、人によって様々な感じ方があることに気付いている。(発言・ワークシート)
第三次	12・13	○交流をもとに自分が選んだ言語活動に取り組む。 【例】 ・1年生に紹介カードをかく。	・「この単元で学んだことや感想が伝わること」、「自分たちで準備すること」、「使える時間や材料」などの条件を示した上で、一人ひとりが誰にどの方法で伝えるかを選ぶようにする。	◇物語を読んだ感想を交流することで物語への理解が深まることを理解し、感想の交流を楽しんでいる。(発言・態度)

		<ul style="list-style-type: none"> ・2年生に音読劇をする。 ・校内にポスター掲示。 		
14	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の昔話や民話を 読み、感想を交流す る。 ○学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の昔話や民話、世界地 図、各国の文化の本を用意してお く。 ・感想を交流することで、読書意欲 をもてるようにする。 		